

第2講

ヘレニズム世界と共和政ローマ

フォロ＝ローマーノ
(ローマ政庁)
@カピトリノーの丘より

アレクサン ドロス大王

@テッサロニキ
(郊外に古都ペラ)



アレクサンドル大王の幼少期の
家庭教師だったのはだれ？

A



B



C



D



A:ソクラテス
B:プラトン
C:アリストテレス
D:ディオゲネス

「アテナイの学堂」
(ヴァチカン宮殿)
By ラファエロ

マケドニア王国

+ギリシア軍(歩兵)

コリントス
同盟 =



アケメネス朝
ペルシア
(ダレイオス3世)

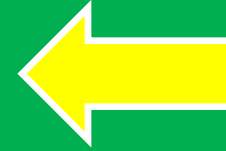
フィリッポス
2世 = 侍医



アレクサン
ドロス



アリスト
テレス



帝王学(東西融合政策)

§2: ヘレニズム時代 (× ヘブライズム=キリスト教文化系) by 独: ドロイゼン

①アレクサンドロス大王とその政策

父 ① 暗殺 → 20歳で即位, 東方遠征へ

前333: ② の戦い (*ポンペイ出土のモザイク壁画) → エジプト遠征へ

前331: ③ の戦い < × ④ > → 前330: アケメネス朝ペルシア滅亡

①オリエント風専制

② ⑤ 建設 ... ギリシア人の入植

③ ⑥ (共通ギリシア語)

④ペルシア人同権化とペルシア習慣採用

東西融合政策

②ディアドコイ (後継者) 戦争 (前301: イプソスの戦い) * 33歳・バビロンで急死

①アンティゴノス朝 ⑦ (都: ペラ, × ギリシア諸同盟) ... ~ 前168

→ ④アッタロス朝ペルガモン (~前133) & ⑤ ⑧ 王国 & ⑥ ⑨ 王国の自立

② ⑩ 朝シリア (都: セレウキア → アンティオキア) ... ~ 前64

③ ⑪ 朝エジプト (都: アレクサンドリア, ムセイオン設立) ... ~ 前30 *ロゼッタ=ストーン



前333年：イツソスの戦い（@ナポリ国立考古学博物館）

この3つに共通するモノはななに？



ベンメリア



ドゥブロヴニク

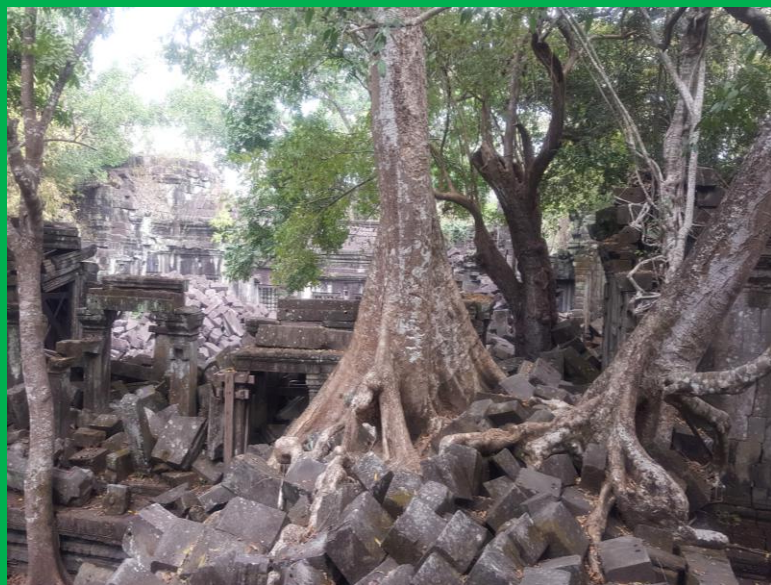


九份老街

ジブリ

宮崎 駿

この3つに共通するモノはななに？



ベンメリア

天空の城ラピュタ

ドゥブロヴニク

魔女の宅急便

九份老街

千と千尋の神隠し



§3：共和政ローマ（トロイア貴族アエネアス⇒ロムルスとレムス）

①ローマ建国（前8c…ティベル川） by ラテン人

前6c： ① 人の王を選出 ⇒ 前509：王を追放（貴族共和政へ）

① ② （統領，1年2名） ② ③ （終身，300名）

③ ④ （独裁官，半年1名） ④ 3つの民会（単独決議不可）

エトルリア人の影響

⇒ 建築のアーチ・水道橋・
衣服・官制・習慣など

貴族共和政

②貴族（パトリキ）と平民（プレブス）の闘争

前494：聖山事件（護民官を設置 ⇒ 平民会の成立） * 2名 ⇒ 10名

前450： ⑤ 制定…ローマ最古の成文法，旧来の慣習法の成文化

前445：カヌレイウス法制定…パトリキとプレブスの通婚承認

前367： ⑥ 制定

…大土地所有を500ユゲラに制限，コンスル1名を平民から出す

前287： ⑦ 制定

…平民会決議が元老院の承認を得ず，単独国法化 ⇒ 民主共和政へ近づく！

③半島統一とその統治 *イタリア半島の地図をみよう！

前272：タレントゥム占領（× ⑧ 人）[← ⑨ 建設]

①軍道や植民市の建設

② ⑩ （征服した諸都市と異なる同盟を結ぶ）

— *なぜ？

★1



SS 93

Canne
della Battaglia



SP 142

SP 12

BARLETTA 9



前216年：カンネーの戦い

④ポエニ戦争（前264～前146）

背景) ⑪ 島の争奪 (×カルタゴ= ⑫ 人〔ティルス〕の植民市)

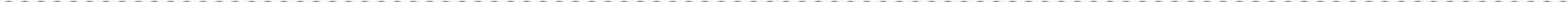
【第1回】 サルデーニャ島・ ⑪ 島を獲得（初の属州化）… 大穀物生産地

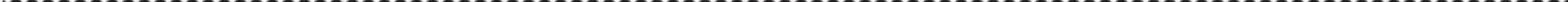
【第2回】 < ⑬ > 戦争… ⑭ の戦い（前216）→ ⑮ の戦い（前202）< × ⑯ >

【第3回】 ローマがカルタゴの街を徹底的に破壊、マケドニア・コリントスも敗北

ローマ社会変質

①  2

②  ★ 3

③  ★ 4

④ ★ 5

➡ 中小農民の没落 ➡ 無産市民化 ➡ 首都ローマに流入

➡ 穀物の配給と娯楽が提供される ➡ ローマ軍の弱体・平民会の機能不全

＊参政権はあるが土地や職業を持たない貧しい人が要求…「17」

➡ 徴税請負人として富裕化した **18** (エクイテス) & **19** (ノビレス) の台頭！

WP11
ローマの権力闘争
の流れと終結

平民派 × 閥族派
マリウス スッラ



第1回:三頭政治

カエサル・ポンペイウス・クラッスス



カエサル独裁 ⇨ 暗殺 by ブルートゥス ら 共和派



第2回:三頭政治

オクタウィアヌス・アントニヌス・レピドゥス



⑤内乱の1世紀（前133～前27）

前133： ②① の改革… リキニウス・セクスティウス法復活を目指す～失敗

→「内乱の1世紀」（ローマ社会の混迷）

＊ ①① の奴隷反乱（前135）～ ②① 戦争（前91～88）～ 剣奴 ②② の乱（前73～71）

→ 軍人台頭（平民派 ②③：職業軍人制 × 閥族派 ②④）

→ 三頭政治①（前60）〈ポンペイウス・カエサル・クラッスス〉

→ カエサル独裁（ ②⑤ 遠征より帰国，“ ②⑥ ” 元老院から与えられた）… imperator

→ 前44にブルートゥスら共和主義者により暗殺される

→ 三頭政治②（前43）〈アントニウス・オクタウィアヌス・レピドゥス〉

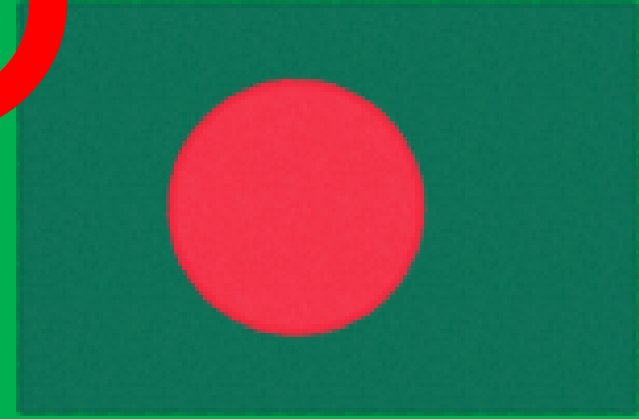
前31： ②⑦ の海戦〈オクタウィアヌス × アントニウス・クレオパトラ〉

第2講

東地中海の民族の動向&オリエント世界の統一
古代イラン世界の変貌

ペルセポリス遺跡

A

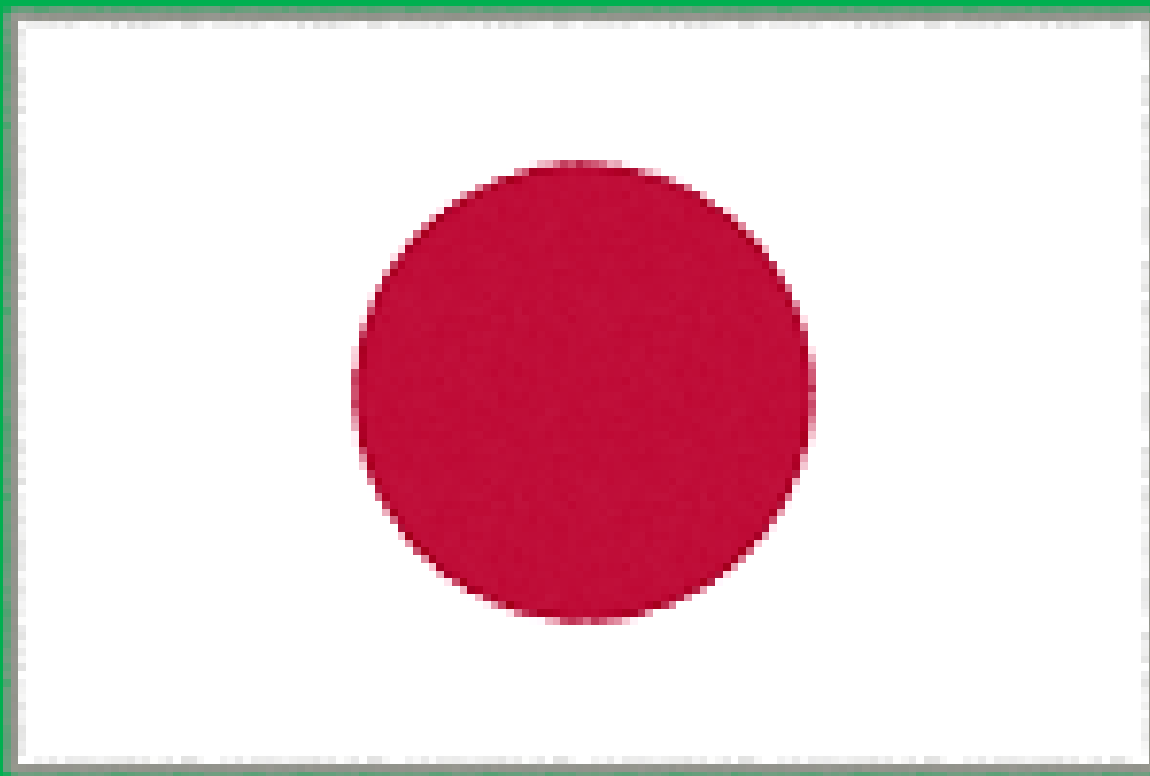


C



D





日本



カンボジア



レバノン





レバノンのベイルートにあるスタバ



イスラエル

新王国 ラムセス2世

「★★★★」
「画面の美しさが最高」
「一歩一歩、感動が広がる」

真

に於いてスペクタクルな巨編といえ、セシル・B・デミル監督による1956年のリメイクにして最高傑作の「十戒」だ。これに負を及ぼす映画はまずない。撮影はエジプトとシナイ山に、映画史上かつてない巨大なセットを造って行われた。このリメイクではモーゼ（チャールトン・ヘストン）の生涯が描かれている。一時はファラオ（ユル・ブリンナー）の兄弟として育てられたモーゼは、王子という身分を捨て、彼の民に自由をもたらそうとする。セシル・B・デミル本人による貴重なプロローグ付き。

十戒

Cecil B. DeMille's
The Ten Commandments
十戒

Introduction by Cecil B. DeMille

WIDESCREEN COLLECTION

Cecil B. DeMille's
The Ten Commandments
十戒

Introduction by Cecil B. DeMille

WIDESCREEN COLLECTION

◀ DREAMWORKS PICTURES ▶

THE
PRINCE
OF
EGYPT

DVD
VIDEO

プリンス
オブ
エジプト





シナイ山頂





§2: 地中海東岸セム系3民族 ← 海の民襲来後に in シリア

① フェニキア人 (シドン・ティルス・カルタゴ～地中海)

① ① 杉 ② フェニキア文字 … 最古の表音文字 (② の原形)

② アラム人 (ダマスクス～内陸アジア)

① アラム語 (国際商業語) ② アラム文字 (西南アジア遊牧民文字の原形) … ソグド・ヘブライ文字へ

③ ヘブライ人 (イエルサレム～一部がヒクソス人と共にエジプトへ) = 他称 ※ 自称 “イスラエル人”

前13c: ③ の “出エジプト” → シナイ山で “十戒” 受ける (三大宗教の預言者) * 唯一神 ④

→ ⑤ 地方へ (→ サウルがイスラエル王国建国 × ペリシテ人) ※ パレスチナの語源

前10c: 2代 ⑥ ・ 3代 ⑦ の全盛期 → 死後, 南北分裂

北) イスラエル王国 (～前722) → ⑧ <サルゴン 2 世>

南) ユダ王国 (～前587) → ⑨ <ネブカドネザル 2 世>

征服

→ 前586 ～ 538: ⑩ (→ 解放後にユダヤ教成立)

→ アケメネス朝～セレウコス朝の支配 → ハスモン朝として独立 → 前1c: ローマ支配下

§3: オリエント世界の統一

① アッシリア王国（前2000～前612：セム系）

- ①鉄製武器と戦車 ② 11 王国より自立 ③オリエント初統一（初の世界帝国）
④ 12 … 最大版図
a：都アッシュル → 13 b：大図書館 c：駅伝制 d：州分割（総督の派遣）
e：威圧的・武力的支配（特にエジプト人をニネヴェへ強制移住）や重税

② 四王国分立時代（前612～）

- ① 14 （インド＝ヨーロッパ語族） 都エクバタナ … ペルシアの自立（ファールス地方より）
② 15 （インド＝ヨーロッパ語族） 都サルデス … 最古の金属貨幣
③ 16 [17 人] （アフロ＝アジア語族） 都バビロン … 全盛）ネブカドネザル2世
④エジプト（アフロ＝アジア語族） 都サイス … 第26王朝 ← クシュ王国（第25王朝）

③ アケメネス朝ペルシア（前550～330） in イラン

- ①キュロス2世… 3王国（リ，メ，新バビ）征服，都 18
②カンビュセス2世… 19 を征服してオリエント再統一（前525）
③ダレイオス1世… 最大版図・中央集権化・他民族への寛容政策

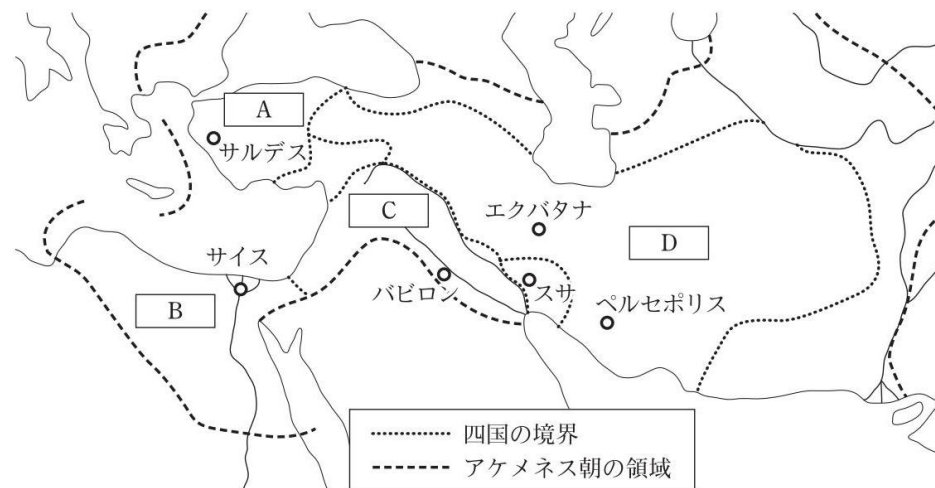
- | | |
|-------------------|---|
| a：新都 <u>20</u> 建設 | b： <u>21</u> （駅伝制）＝スサ～サルデス |
| c：金銀貨の鑄造 | d： <u>22</u> 制（“ <u>23</u> ”で監視）＝20州に分割 |

- ④クセルクセス1世… ペルシア戦争（ 24 の海戦）で敗北
⑤ダレイオス3世… 25 の戦い敗走後，部下に暗殺される → 前330：王国滅亡

文化
関
連

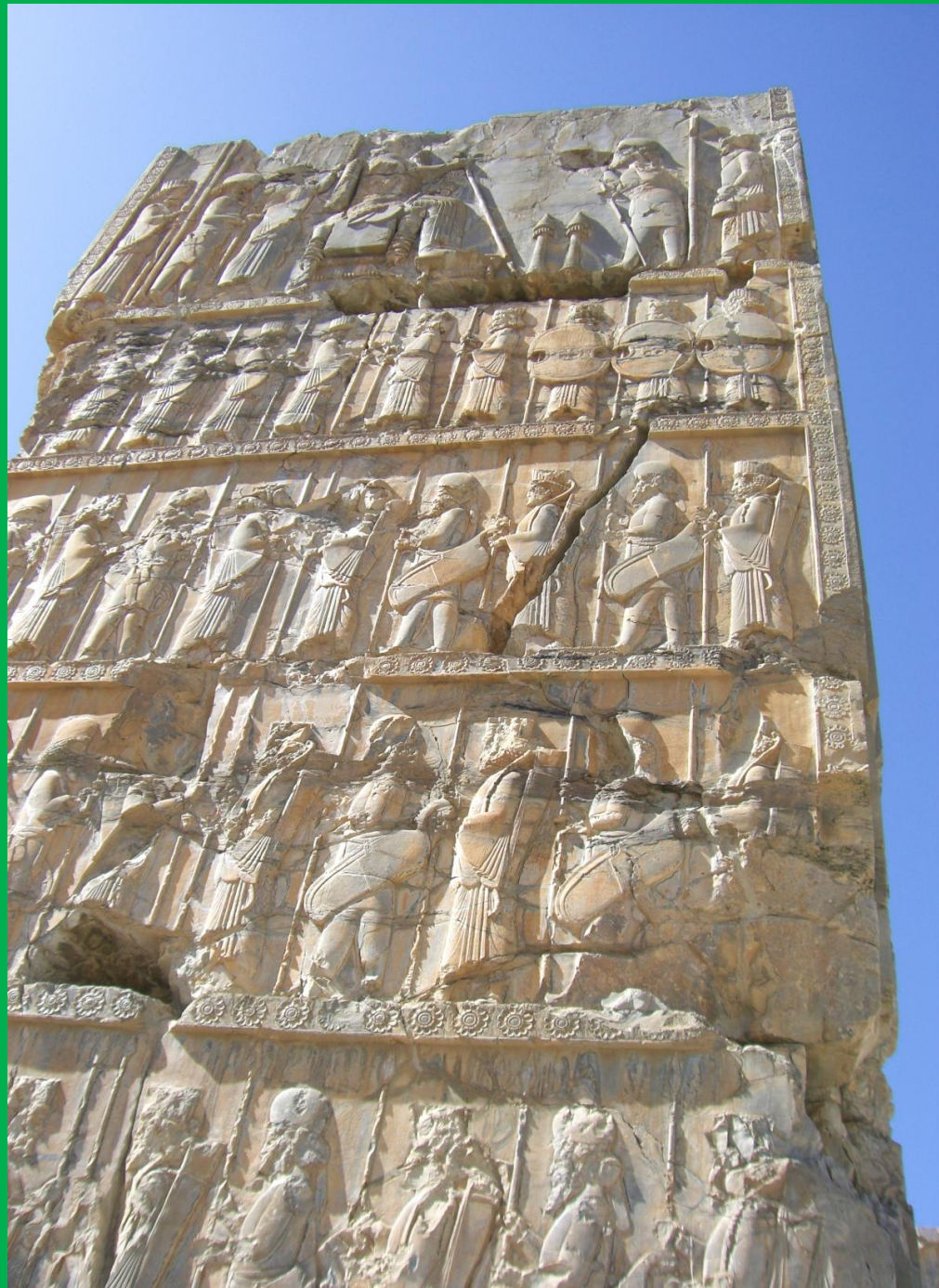
- a：公用語（アラム語・ペルシア語など），ペルシア文字（楔形文字）
b：ペルセポリス碑文〈グローテフェント（独）〉 c：ゾロアスター教の成立
ベヒストゥーン碑文〈ローリンソン（英）〉 d：光明神ミトラ（→ローマへ）

■ 4国の分立とアケメネス朝の統一





ペルセポリス遺跡（イラン）



▼パルティアの領域



▼ササン朝の領域



☆ペルシア文明

- 政治面……中央集権体制・官僚制
- 美術面……絨毯・ガラス器・絵画
- 技術面……建築・諸科学
- 宗教面……ゾロアスター教
 - ➡ 一神教に影響を与える
- 言語面……ペルシア語
 - ➡ 諸地域の共通語となる

§4：古代イラン世界の変貌 … アーリヤ人に由来

① アルサケス朝パルティア（前248～後224）

創始) ① (安息) 全盛) ミトラダテス1世 都) ② (前1世紀に遷都) *位置に注意
前53: カルラエの戦い < × ローマ将軍 ③ > 97年: 後漢の使者甘英の来朝
後116: 一時全メソポタミアを失う × ローマ皇帝 < ④ 帝 > ※ローマは最大版図に!!

② ササン朝ペルシア（224～651） 都クテシフォン

① アルダシール1世 … 建国, “諸王の王” を自称, ゾロアスター教 を国教化

② シャープール1世 (3c) … 東) インドの ⑤ 朝を討伐

「イラン人及び
非イラン人の諸王の王」

西) 260年: エデッサの戦い < × ローマ軍人皇帝 ⑥ を捕虜 >

③ ホスロー1世 (6c) … 東) 中央アジアの遊牧民 ⑦ を討伐 (+突厥と挟撃)

西) アンティオキア占領 < × 東ローマ皇帝 ⑧ >

④ ヤズダギルド3世 … 642年: ⑨ の戦い × イスラーム: 正統カリフ第2代ウマル

*マニ教・ネストリウス派キリスト教の動向に注目

*ササン朝美術 → 日本へ (法隆寺の獅子狩文錦・正倉院の漆胡瓶など)

☆ササン朝の文化

(1) 宗教（ゾロアスター教以外）

① マズダク教……ゾロアスター教の異端

- 極端な禁欲と平等を主張 ➡ ホスロー 1 世に弾圧されて衰退

② マニ教……創始者マニ（バビロニア生まれ）

- グノーシス主義（物質・肉体に否定的な二元論的神秘思想）の影響
ゾロアスター教にキリスト教・仏教を融合し，3 世紀に成立
- 特徴……徹底した善悪二元論，禁欲主義，偶像を否定
- ササン朝で弾圧・迫害を受ける ➡ 世界各地へと伝播

③ ネストリウス派……ローマ教会で異端とされたキリスト教

- ササン朝下で布教活動が許可……阿羅本（ペルシア人）が中国へ伝道

(2) ササン朝美術……イランの技術にギリシア・インドの要素が加わる

- 銀器・ガラス器・織物などの美術工芸品に優れる ➡ 中国や日本にも伝播

例……唐代の獅子狩文錦（法隆寺に所蔵），水差しの漆胡瓶（正倉院に所蔵）

